



Title	大阪大学人間科学部紀要 第14巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学人間科学部紀要. 1988, 14
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21621">https://hdl.handle.net/11094/21621</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 執筆者紹介

中島義明	人間科学部助教授	(行動学講座)
柏原崇	〃 助手	(行動学講座)
赤井誠生	〃 教務職員	(行動学講座)
米谷淳	〃 助手	(比較行動論講座)
吉田敦也	〃 助手	(比較行動論講座)
杉万俊夫	〃 助手	(社会心理学講座)
吉田光雄	〃 助教授	(行動工学講座)
山田恒夫	〃 助手	(行動工学講座)
菅野盾樹	〃 助教授	(人間学講座)
菊池城司	〃 教授	(教育社会学講座)
阿部彰	〃 助教授	(教育制度学講座)

## 編集後記

人間科学部の前庭には、阪大のシンボルであるイチョウの植込みがある。これがやっと根付き、太い枝を上下左右に延ばしだした。人間科学部の本館の塗装も、とりあえず外周道路に面した前半分だけが終わり、12年の汚れを落して見違えるばかりにきれいになった。そういえば、外周道路沿いには、阪大正門ができて「西の赤坂離宮正門」という噂もまんざらではない、堂々たる威容を誇っている。もっとも1年近くたった今もなお「開かずの門」のままではあるが、ともかくこうして、人間科学部の外側は、十余年を経て面目を一新した。肝心の内側の研究と教育は、どうなのか。

これは微妙な問題であって、イチョウや外装や正門のように、はっきり形をとって現われてこない。あえて言えば、比較文明学の講座や、社会学、教育学の基礎科目が、それぞれ専任の教授を迎えて発足できる見通しもついた。いくつかの学会も本学部で開催された。講座を超え、時には系を超えての共同研究も、いくつかが継続している。この紀要論文も、ほぼ例年通りの本数で、力作を収めることができた。学部が一人立ちして、独自のカラーを創り出すのに、少なくとも十年かかると言われる。確かにその通りであって、新しい次のステップを踏み出す時と言えよう。

茅野良男前学部長がご退官になる。その業績等を本巻に収め、長年にわたって本学部の研究と教育、そして運営に努力を傾注された茅野教授に、謝意を捧げるものである。

### 紀要編集委員

○水越敏行

阿部彰 厚東洋輔

梶原景昭 南徹弘

(○印委員長)

昭和63年 3月20日 印刷

昭和63年 3月30日 発行

大阪大学 人間科学部紀要 第14巻

編集・発行 大阪大学人間科学部

〒565 吹田市山田丘1-2

TEL 06(877)5111 (大代表)

印刷 京都市下京区中堂寺鍵田町2

株式会社 圖書同朋舎

# BULLETIN

VOL. 14

1988

## CONTENTS

- Induced Movement and Frame of Reference  
..... Yoshiaki Nakajima ( 1 )
- Visual Perception of Biological Motion—An example  
of event perception—..... Takashi Kashiwabara ( 25 )
- An Analysis of Figural Ambiguity using Structural  
Information Theory: Concerning Voluntary Visual  
Exploration .....Seiki Akai ( 49 )
- Size Comparison from the Standpoint of the Psychology  
of Set: An Approach to the Foundation of Visual  
Behavior..... Kiyoshi Maiya ( 73 )
- Response to Experimental Playbacks of Conspecific  
Alarm Call in Free-ranging Japanese macaques  
(*Macaca fuscata*).....Atsuya Yoshida ( 89 )
- Effects of Interpersonal Influence Processes during  
Group Decision Making on the Implementation  
of a decision .....Toshio Sugiman (101)
- Research on Positive Interests toward the Sea  
..... Mitsuo Yoshida (123)
- Vocal Mimicry in Birds  
—Its Phenomenon and Function—.....Tsuneo Yamada (147)
- When is an Image? ..... Tateki Sugeno (191)
- The Estimation and Comparison of Changing  
Enrolment Rates of Japanese University..... Jyoji Kikuchi (221)
- Motion Picture as Research Materials for Educational  
History..... Akira Abe (255)

Published

by

THE FACULTY OF HUMAN SCIENCES  
OSAKA UNIVERSITY